

ヒートガンセット

HEAT GUN SET

取扱説明書

この度はヒートガンセットをお買い求めいただき、ありがとうございます。未長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

もくじ

はじめに	2	温度の設定	11
・ヒートガンセットについて	2	・設定温度について	11
・仕様	2	・風量スイッチの設定による吐出温度範囲	11
安全上のご注意	3	・温度調節ダイヤルについて	11
・ご使用前△警告	3	・設定温度と加工例	11
・ご使用前△注意	4	・運転手順	12
・ご使用中△警告	5	・運転手順	12
・ご使用中△注意	6	・塗料・ニス等の剥離作業	13
・ご使用後△警告	7	終了手順	14
・ご使用後△注意	7	・終了手順	14
各部の名称	8	・安全回路について	14
・主要各部の名称	8	故障かな?と思ったら	15
・主要各部の名称と機能	8	保守と点検	15
・付属品の名称と用途	9	・作業後のお手入れ	15
・ご使用前に	10	・スクレーパのお手入れ	15
・風量スイッチ・差し込みプラグの確認	10	・保管について	15
・各種ノズルの取り付け	10		
・かき出しスクレーパの準備	10		



お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

発売元 **株式会社パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

はじめに
P2
P7

各部の名称
P8
P9

使いかた
P10
P13

終了する
P14

その他
P15

はじめに

ヒートガンセットについて

高温の熱風により曲げ、剥離、成形、乾燥、解凍等を行う電動工具です。
ノズルとスクレーパが各4種類付属していて、様々な作業に対応できます。

塗料やニス除去・剥離に。 シリンクパック加工に。
シールや装飾品等の剥離に。 アクリル成形に。
塩ビパイプ、アクリルパイプの曲げ加工に。
凍結した水道管、ドアロック、南京錠等の解凍に。
ニス塗り前の、木目のきわだたせに。
接着剤の剥離、修理前のパテ等の軟質化に。
湿ったり、充填材で補修した木材の仕上げ前の乾燥に。
スキー板へのワックス塗りや、除去に。

仕様

型 式	H G - 1 0 S			
定 格 電 圧	A C 1 0 0 V			
定 格 周 波 数	5 0 / 6 0 H z			
定 格 消 費 電 力	1 , 2 0 0 W			
定 格 時 間	3 0 分			
温 度 調 節 範 囲	約 5 0 ~ 6 5 0			
吐 出 温 度	風量 1 (Low)	約 5 0 ~ 6 5 0	風量 2 (High)	約 5 0 ~ 5 3 0
電 源 コード	約 2 . 5 m			
本 体 質 量	約 8 9 0 g			
絶 縁 方 式	□二重絶縁			
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ・ノズルA (パック加工等に)…………… 1 ・ノズルB (細かい加工等に)…………… 1 ・ノズルC (塩ビパイプ加工等に)…………… 1 ・ノズルD (剥離加工等に)…………… 1 ・ヘラ型スクレーパ…………… 1 ・スクレーパ固定具…………… 1 ・かき出しスクレーパ (滴 型)…………… 1 ・かき出しスクレーパ (三角型)…………… 1 ・かき出しスクレーパ (変形型)…………… 1 			

品質改良のため、外観・仕様など一部変わることがあります。

安全上のご注意

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

本取扱説明書の注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分されています。



この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。

なお、⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。

ご使用前

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。

2. 作業はきちんとした服装で行ってください。

- ・作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳当て、防じんマスク、手袋、安全靴等の保護具を着用してください。

3. 作業場の周囲状況を考慮してください。

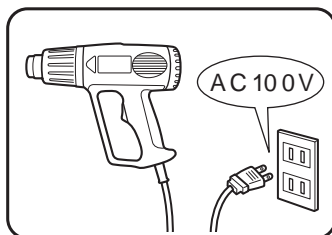
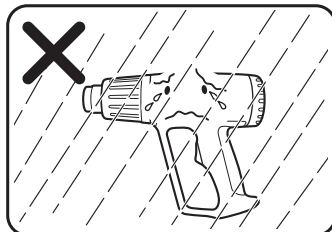
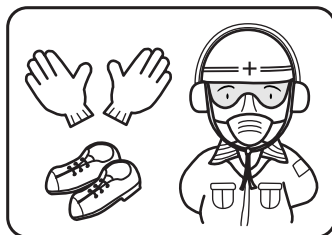
- ・雨の中で使用したり、濡った、または濡れた場所で使用しないでください。感電の恐れがあり、危険です。

4. よく換気された、風通しの良い場所で作業を行ってください。

作業の際に塗料や加工物等が溶け、有害な煙が発生する恐れがあります。

5. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧（AC100V）でご使用ください。

- ・表示を超える電圧で使用すると、事故やけが、本機損傷の原因になります。



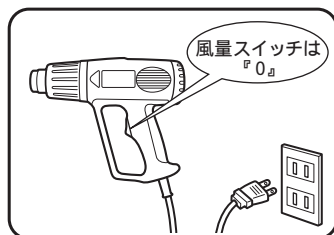
安全上のご注意

ご使用前

警告

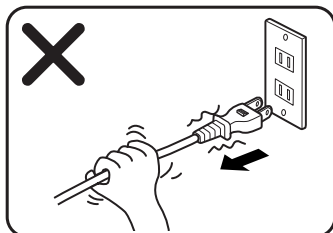
6. 不意な始動は避けてください。

- ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、風量のスイッチが『0』になっていることを確認してください。



7. 電源コードは乱暴に扱わないでください。

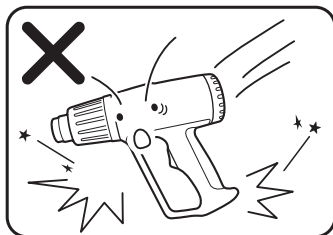
- ・電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。
- ・電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



8. 本機は大切に取り扱いってください。

誤って落としたり、ぶつけた時は、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



ご使用前

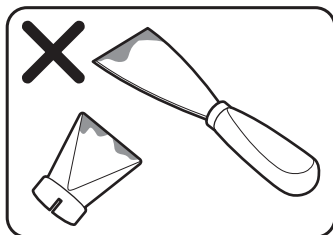
注意

1. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。

- ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。

2. 使用前にノズルやスクレーパに塗料やニス等が付着していないか確認し、付着していた場合はきれいに除去してください。

- ・発火、及び有害な煙が発生する恐れがあります。

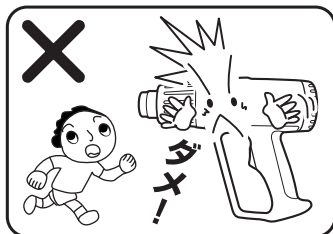


ご使用中

警告

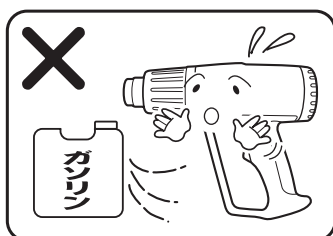
1. 子供を近づけないでください。

- ・作業員以外、ヒートガンやコードに触れさせないでください。
- ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。



2. 揮発性可燃物のそばで使用しないでください。

- ・引火または爆発の恐れがあるため、危険です。

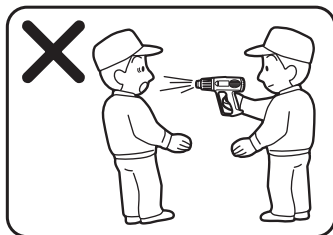


3. ヘアドライヤーとしては絶対に使用しないでください。

- ・高温になるため、大変危険です。

4. 熱風を直接、人や動物に向けしないでください。

- ・高温の熱風が吹き出すため、大変危険です。



5. 電源コードを誤って熱さないよう、加工物から離れた位置にあることを確認してください。

6. 化学剥離材と併用しないでください。

- ・有害物質が発生する恐れがあります。

7. 使用中は、送風口・ノズルに触らないでください。

- ・高温になっているため、やけどの恐れがあります。

8. 無理な姿勢で作業しないでください。

- ・常に足もとを安定させ、バランスを保つようにしてください。

9. 使用中は、本体を確実に保持してください。

- ・確実に保持していないと、やけどやけがの原因になります。



10. 風量スイッチを入れたまま、台や床等に放置しないでください。

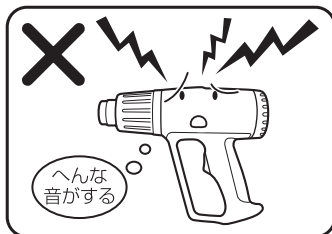
- ・事故やけがの原因になります。

安全上のご注意

ご使用中

警告

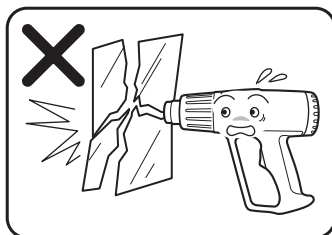
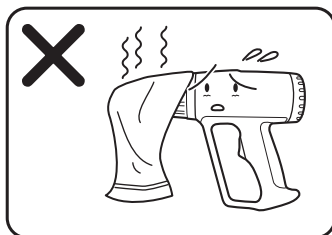
- 1 1 . ノズルを交換する際は、必ず風量スイッチを『0』にし、手袋をはめて交換してください。
 - ・ノズルは高温になっているため、やけどに注意してください。
- 1 2 . 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
 - ・そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。



ご使用中

注意

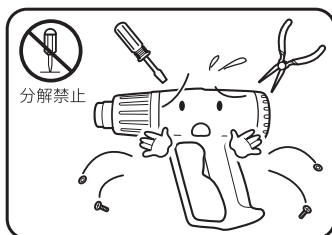
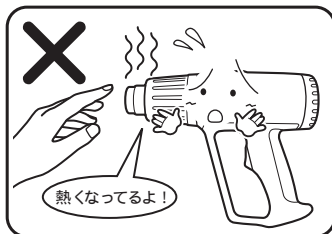
- 1 . エアの送風口をふさいだり、覆ったりしないでください。
 - ・送風がスムーズに行われず、内部温度が高温になり過ぎる恐れがあります。
- 2 . ノズルの中に物を入れないでください。
 - ・送風がスムーズに行われず、内部温度が高温になり過ぎる恐れがあります。
 - ・中に入れた物が溶け、有害物質が発生する恐れがあります。
- 3 . 本機の表面を覆って熱くさせないでください。
 - ・過度に高温になると本機故障や、事故、けがの原因になります。
- 4 . 必要以上に塗料やニス等を加熱しないでください。
 - ・発火の恐れがあります。
- 5 . 鏡やガラス製品の表面を集中的に加熱しないでください。
 - ・割れる恐れがあります。



ご使用後

警告

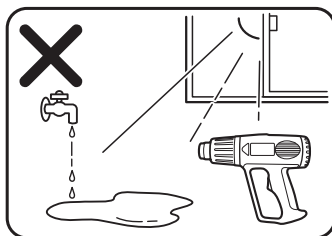
1. 作業終了直後のノズルや加工物は、絶対に素手で触らないでください。
 - ・大変熱くなっており、危険です。
2. 風量スイッチを『0』にした後、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - ・不意な作動で、思わぬ事故やけがの原因になります。
3. 本機を分解、改造しないでください。
 - ・事故やけが、故障の原因になります。
4. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。
5. 注意深く手入れをしてください。
 - ・電源コードや差し込みプラグは定期的な点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
 - ・グリップは、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



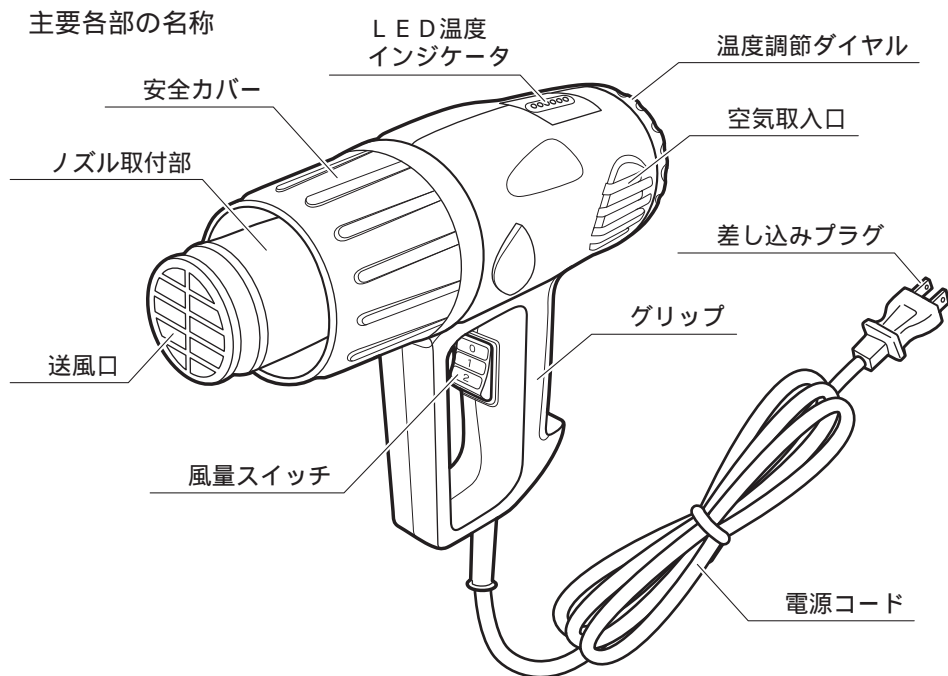
ご使用後

注意

1. 使用後は完全に冷めてから収納してください。
 - ・高温のまま収納すると、故障の原因となります。
2. 使用しない場合はブローケースに収納し、きちんと保管してください。
 - ・お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。



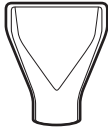



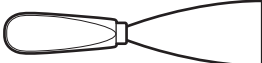




各部の名称



主要各部の名称と機能

名 称	機 能
LED温度インジケータ	本体内部のヒータ付近の温度を表示します。
安全カバー	ノズル取付部が高温になるため、保護するカバーです。
ノズル取付部	付属品の各種ノズルを取り付けます。
送風口	熱風を吐出します。
風量スイッチ	0 (OFF)・1 (Low)・2 (High) を切り替えます。
グリップ	グリップです。本体を立てて使用する際の支えにもなります。
空気取入口	ここから空気を取り入れ、内部のヒータで温度を上げます。
温度調節ダイヤル	吐出温度を調節します。
差し込みプラグ	差し込みプラグです。
電源コード	電源コードです。(約 2.5 m V C T F 1.25 mm ²)

付属品の名称と用途

名 称	形 状	用 途
ノズル A		パック加工等
ノズル B		細かい加工等
ノズル C		塩ビパイプ加工等 (使用目安： 20 mmまで)
ノズル D		剥離加工等
ヘラ型スクレーパ		剥離加工等の補助
スクレーパ固定具		かき出しスクレーパの固定
かき出しスクレーパ	 滴 型  三角型  変形型	剥離した塗料やニスを取り除き スクレーパ固定具に取り付けて使用

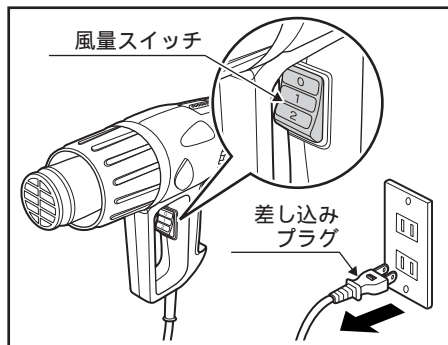
ご使用前に

各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

風量スイッチ・差し込みプラグの確認
風量スイッチが『0』の状態になっていることと、差し込みプラグが電源に差し込まれていないことを確認してください。

⚠ 警告

風量スイッチが『1』や『2』の状態では、差し込みプラグを電源に差し込むと、不意に始動し、思わぬ事故の原因になります。

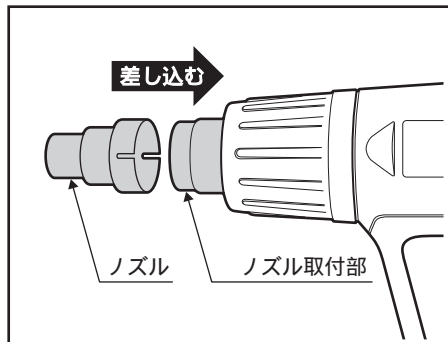


各種ノズルの取り付け

付属のノズルは用途に合わせて、本機のノズル取付部に差し込んで取り付けてください。

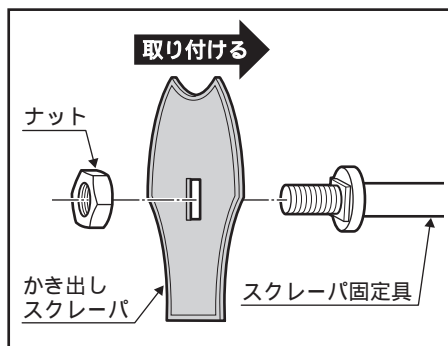
⚠ 注意

作業中にノズルが外れると、やけど等けがの恐れがあります。確実に差し込んで取り付けてください。



かき出しスクレーパの準備

かき出しスクレーパは、塗料やニス
の剥離作業に使用します。
用途に合わせて、各種スクレーパを
スクレーパ固定具に取り付けて使用
してください。



温度の設定

各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

設定温度について

設定温度とは、本体内部のヒータ付近の温度をLED温度インジケータで感知したものです。

実際の吐出温度とは異なりますので、ご了承ください。

LED温度インジケータは、あくまでも目安としてご使用ください。

風量スイッチの設定による吐出温度範囲（ノズル未装着時）

風量0（OFF）

風量1（Low） 約50 ～ 650

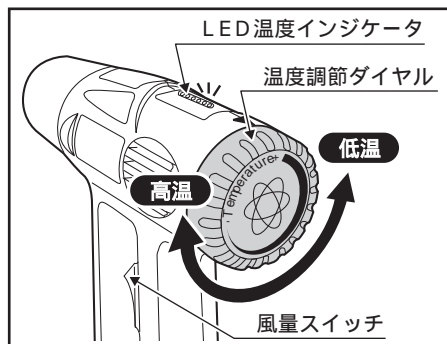
風量2（High） 約50 ～ 530

温度調節ダイヤルについて

温度調節ダイヤルを回すことにより、本体内部の設定温度が変わり、吐出温度が調節できます。

- ▶ 時計回り・・・高温になる
- ▶ 反時計回り・・・低温になる

本体内部の温度は、LED温度インジケータに表示されます。



設定温度と加工例

表は目安です。

設定温度	加工例
50 ～ 100	凍った水道管等の解凍に
100 ～ 200	アクリル材の曲げ、加工に
200 ～ 350	塗料やパテの乾燥に
350 ～ 500	接着剤の軟化に
500 ～ 650	塗料や二スの剥離、除去に

運転手順

各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

⚠ 警告

- ・よく換気された、風通しの良い場所で作業を行ってください。
- ・特に鉛を含んでいる塗料は有害ですので、注意して作業を行ってください。
- ・作業時は必ず、作業用の手袋等を着用してください。やけどの恐れがあります。
- ・保護メガネ、マスク等も着用して作業を行ってください。

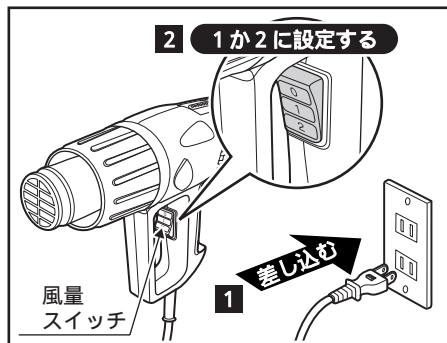
⚠ 注意

- ・化学剥離材と併用しないでください。
- ・初めてご使用になる際に、本機に付着している油等が熱せられ、発煙することがありますが、使用上差し支えありませんので予めご了承ください。

運転手順

風量スイッチが『0』になっていることを確認し、差し込みプラグを電源に差し込んでください。

風量スイッチを『1』または『2』に設定します。



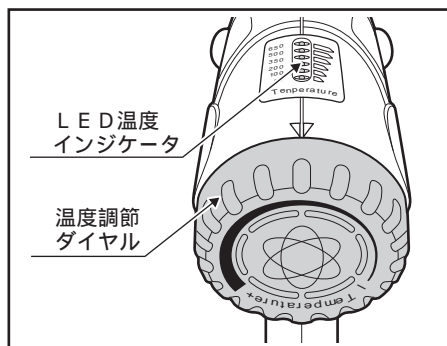
LED温度インジケータが希望の設定温度を表示するまでお待ちください。

希望温度に達しない場合は、温度調節ダイヤルを時計回りに回して、内部の設定温度を上げてください。

設定温度に達したら、作業を行ってください。

⚠ 警告

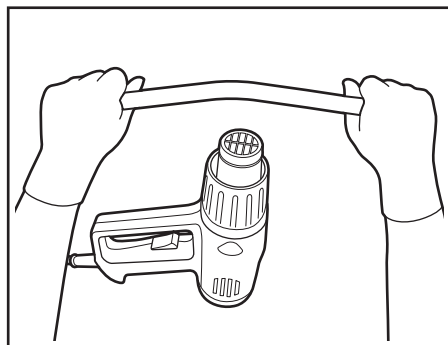
送風口からは高温の熱風が吹き出しますので、手をかざして温度を確認したり、送風口・ノズル・ノズル取付部等に触れたりとは絶対にしないでください。



本機は平らな面で自立しますので、両手で作業を行うこともできます。

⚠ 警告

- ・作業中に倒れてやけどを負わないよう、十分に注意して作業を行ってください。
- ・熱風が身体に当たらないように配置してください。

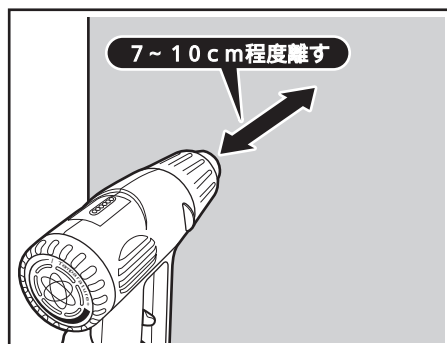


塗料・ニス等の剥離作業

ノズル先端を剥離しようとする塗装面から、約7～10cm程度離して加熱してください。
しばらくすると塗料が軟化し、ふくらみ始めます。

⚠ 注意

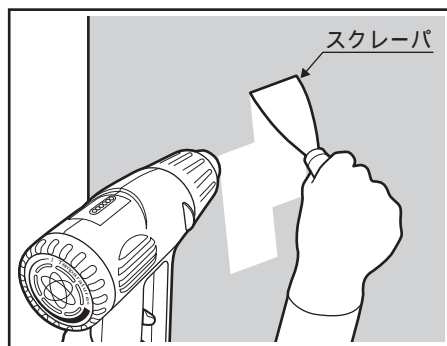
仕上がりを良くするため、塗料は過度に加熱しないでください。



剥離する面をムラなく熱したらスクレーパで削り落としてください。
塗装面が適切に過熱されていると、簡単に一削りで塗料を剥がすことができます。

⚠ 注意

- ・塗料はすぐに硬くなるため、軟らかいうちに剥がしてください。
- ・塗料がスクレーパ刃部に付着したままにならないよう常にきれいにし、鋭利な状態を保って作業を行ってください。

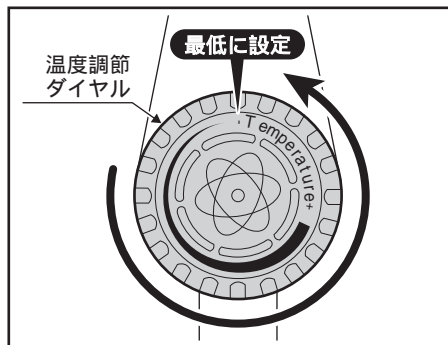


終了手順

各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

終了手順

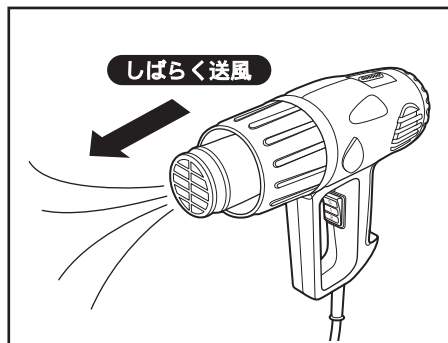
温度調節ダイヤルを反時計回りに回し、一番低温に設定してください。



そのまましばらく送風し、本体内部の温度を下げてから風量スイッチを『0』にしてください。

低温で作業していた場合は、この手順は不要です。

送風口付近が完全に冷めてから、ブローケースに収納してください。



安全回路について




高温作業の後すぐに、風量スイッチを『0』にすると、内部温度が上昇し約3～6分後に安全回路が働きます。これにより、風量スイッチを入れても起動しなくなります。

再度起動させるためには、安全回路が働いてから約30～40分放置し、内部温度が下がるのを待ってください。内部温度が下がった後、風量スイッチを入れると再度起動します。

故障かな?と思ったら

各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
作動しない	差し込みプラグが外れている	差し込みプラグを正しく電源に差し込んでください。
	安全回路が働いている	30～40分程度放置し、再度風量スイッチを入れてください。 
発煙する	初めてご使用になる際は、本機に付着している油等が熱せられ、発煙することがありますが、使用上差し支えありません。	
	ノズルに塗料やニスが付着している	付着している塗料やニスを除去してください。
作業能率が上がらない	温度設定が適正でない	作業に合った温度設定にしてください。 
温度が上がらない	温度調節ダイヤルが低く設定されている	温度調節ダイヤルを時計回りに回して設定温度を上げてください。 

これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。

お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

保守と点検

各部名称・番号はP8・P9をご参照ください。

作業後のお手入れ

本体やグリップの油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。ガソリン、シンナー、石油等の使用は本体を傷めます。また、水洗いは絶対にしないでください。

スクレーパのお手入れ

スクレーパに塗料が付着していると作業効率が低下します。常にきれいな状態にしておいてください。

保管について

使用しない場合はきちんと保管してください。右記の場所には保管しないでください。

軒先など雨がかったり、湿気のある所
お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
直射日光の当たる所

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名		ヒートガンセット	型式	HG-10S
お買い上げ日		年 月 日	保証期間	6ヶ月
お客様	ご住所	〒		
	ご氏名	様		
	電話番号	- () -		
販売店	住所			
	店名			
	電話番号			

印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

本書の提示がない場合。

本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。

使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。

火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。

一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。

リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。

日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21

TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559

URL <http://www.paock.co.jp>